

IMPROVE(インプルーヴ) 生育補助剤

多種類酵素を配合し、有効土壌菌の増殖と菌のバランスを整え土壌を最良な状態に改善します。

土壌中の有機物を酵素の働きにより分解し、根部への分解した肥料成分の供給を容易にすると同時に、有害部質は、分離流亡します。

インプルーヴは水で希釈し、有機・無機活性成分の働きにより、水の表面張力を和らげ、土壌の粒子表面に馴染む様になります。(表面張力比較図参照)

この特性を活かして土壌粒子間を、洗浄しながら下方へ浸透します。

特 徴

1. 浸透性・保水性・踏圧土壌の改善

インプルーヴは、有機・無機活性成分の働きにより、水の表面張力を和らげ、土壌の粒子表面に馴染む様になり、インプルーヴの微生物増殖成分の浸透を容易にします。

微生物の増殖により、土壌の団粒構造が形成され踏圧状況の改善と適度な保水が可能となります。

2. pH の改善

インプルーヴの構成成分により硝酸化成菌が活性化し pH が中性点に近付けられると同時に、塩基類を切り離し流亡します。

3. 微量要素の吸収促進

インプルーヴにより中性化した土壌にインプルーヴの構成成分が働きかけ、土壌に吸着され易い燐化合物の溶出を容易にし、植物の成長を促進します。

4. 有機物残渣の分解

土壌中に浸透したインプルーヴの構成成分が、有機物に浸み込むと同時に、増殖された微生物の働きにより環境改善を促します。

5. 静菌力の効果

インプルーヴにより増殖された微生物の働きにより、殺菌剤等の効果を上げます。

6. 連作障害の改善

根の周りに発生する単一な根圈菌を、インプルーヴの構成成分が、根圈菌の所在範囲を徐々に縮め改善します。

7. 肥効力を上げる

施肥前にインプルーヴを散布すると、インプルーヴの浸透経路により必要な空気の供給・微生物の増殖等が促進し、肥料成分を待つ土壌環境が整います。

施肥後にインプルーヴを散布すると、好気性微生物が急速に増殖され、通気性も良好となり、肥料成分を根に供給します。

8. 地中温度の安定

インプルーヴを定期的に年間施用することで、冬季は土壤中の団粒構造中に適切な空気が保存され、土壤中の温度を凍結しない程度にコントロールします。

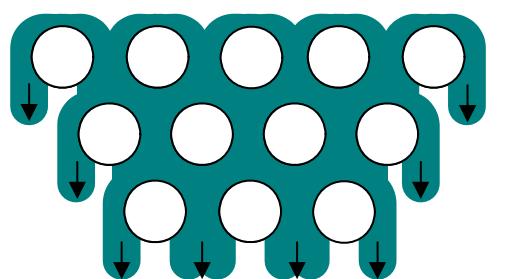
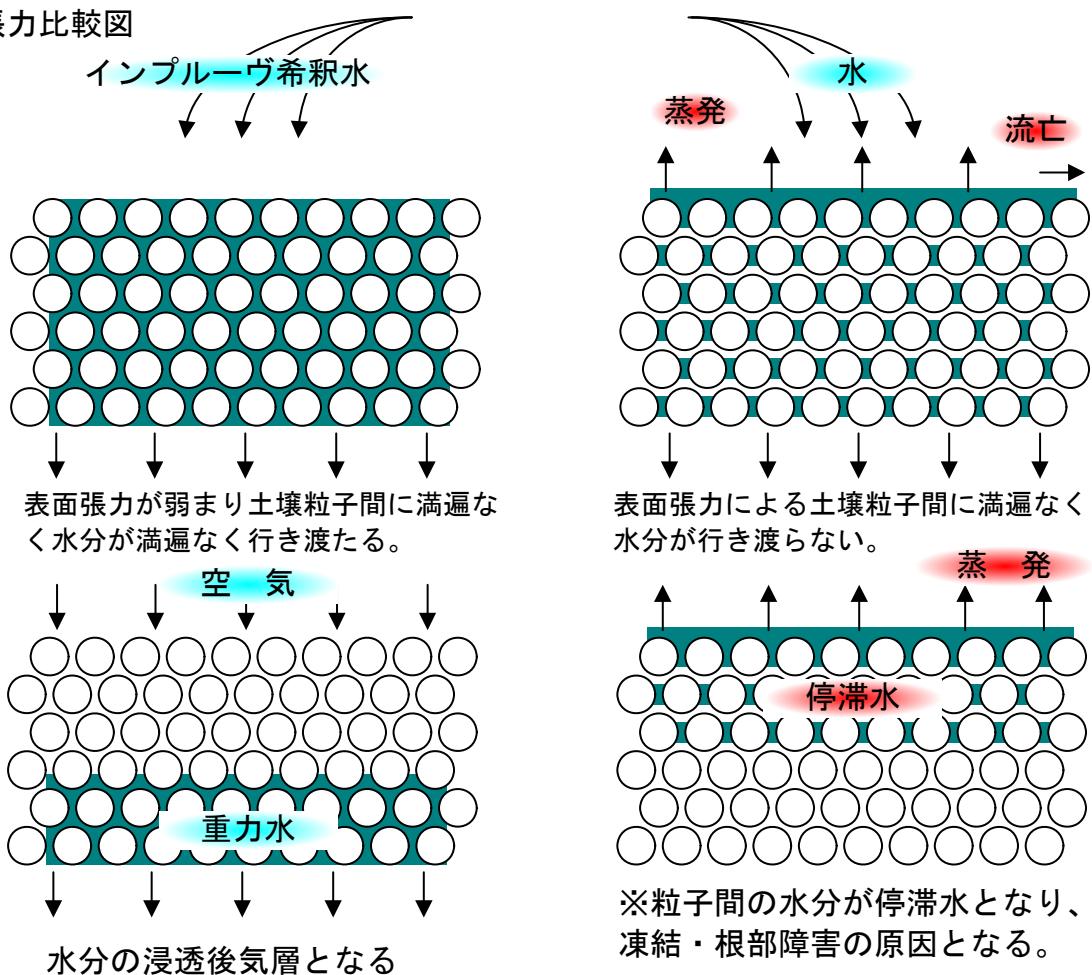
夏季は、表面が固結・乾燥しドライスポット等の障害発生を増殖した微生物が抑制し、ウェットウィルト等の障害にも、不透水層に微生物が作用します。

インプルーヴの年間施用により、冬季・夏季を問わず、環境に強く、病害等にも強い土壤を作ります。

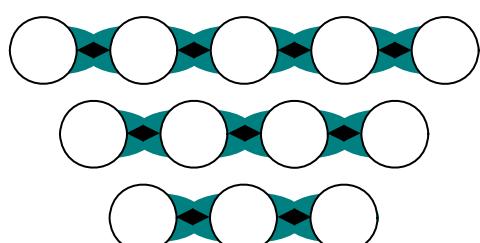
9. 光合成の促進

葉面に付着し光合成作用を阻害する物質を、インプルーヴの界面活性成分が葉面から洗浄し光合成效率を上げます。

表面張力比較図



表面張力が小さい水は土壤粒子の表面を伝わり次々と流れ落ち深く浸透する



表面張力が大きい小さい土壤粒子間に独立して残り土壤中に浸透するよりも表面で蒸発・流亡が多く、停滞水となる。

パッケージ

10 リットル (標準使用時 10,000~20,000 m²)

インプルーヴの標準使用方法

散布箇所	標準希釈倍率	散布量	備 考
グリーン	1,000~2,000 倍	1,000ml/m ²	土壤凍結時以外は、2週間に1回
ティーグラウンド	1,000~2,000 倍	1,000ml/m ²	"
フェアウェイ	2,000 倍以上	1,000ml/m ²	"
液肥混合	※液肥混合散布は、お止め下さい。		
薬剤混合	※薬剤混合散布は、お止め下さい。		
葉面洗浄	2,000 倍以上	100ml/m ²	土壤凍結時以外は、2週間に1回

成 分

土壤菌増殖成分

有機界面活性剤

無機界面活性剤

成分詳細

1. 砂糖
2. 糖蜜
3. 麦芽
4. イースト
5. 尿素
6. ポリエチレングリコール
7. クエン酸
8. テトラデキシール硫酸ナトリウム
9. その他